

9. 田上城

伊地知氏3代季豊が築城し、梶原氏が居城としたと言われています。

梶原氏の祖は、源頼朝の重臣梶原景時とされます。景時は頼朝の死後に庇護を失って鎌倉を追われ、島津氏を頼り薩摩へ逃れ、さらに垂水へ来たといわれています。

伊地知氏と姻戚関係を結び、勢力の維持を図りますが、次第に伊地知氏に押され、天文13（1544）年に田上城を奪われました。

その後伊地知氏は島津氏に敗れ、田上地頭に敷根氏が任ぜられましたが、慶長4年（1599）島津以久が垂水領主となり垂水城を居城としたため、田上城は以後廃城となりました。

